

森の川自然散歩

2019年4月号

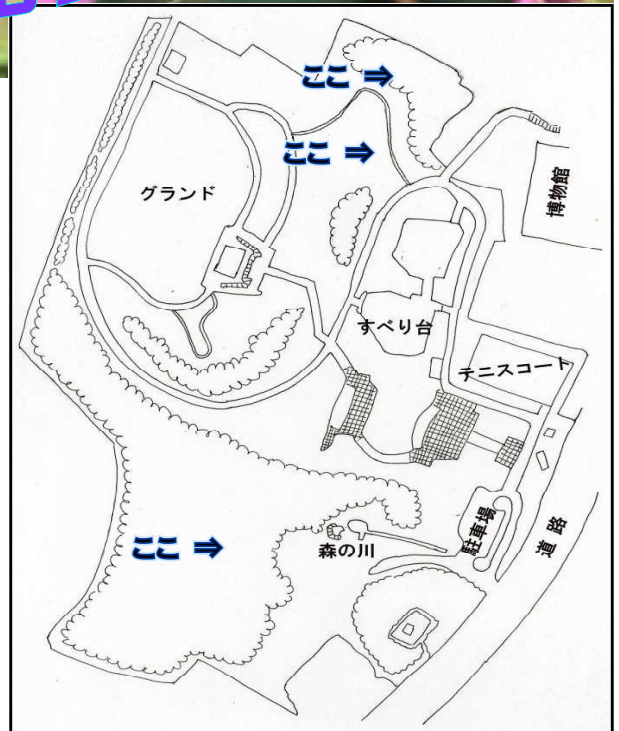


身近で見つける生きた化石

上：地表を歩くオキナワキムラゲモのメスと住居の入り口から外をうかがうメス。

ズアカアオバト（メモ）▶▶▶

- 全長が35センチくらいの、全身緑色をしたハトです。全身緑色といっても、背中は濃い緑色で、お腹の方は黄緑色、くちばしは薄い青色です。
- 広場や草地よりも、少し薄暗い林内を好むようです。鳴き声は「パーポーッ、パアポオッ」と聞こえ、少しさみしげです。
- 沖縄島の森に普通に見られる留鳥で、森川公園では、ウガンノカタの後ろの森やモクマオウのトンネルの森などで見られます。アコウやガジュマルの実をよく食べています。
- 森の近くに建物などがあると、そのガラス窓などにぶつかって死んでしまうことも、よくあります。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(26) 公園のサクランボは甘くなる？

1月にきれいな花を咲かせていたカンヒザクラも、4月ともなれば、緑色のかわいいサクランボをつけています。

カンヒザクラのサクランボは、あまり話題にはなりません、一応食べられます。だからといって、すぐに食べるのは早計です。えぐみが強くて、とてもおいしいとはいえません。

私の経験では、いくつかの枝についている実を、次々にかじっていくと、たまに少しだけ甘い実にあたる場合があります。こうした少し甘い実の種を植えて育てていくと、もしかしたら、甘いサクランボになるのかも…？。



上:遊歩道沿いのサクラの木についたサクランボ。

森川公園4月の花ごよみ

君はどこからやって来た？ ～ シロツメクサ ～

- 公園の上の広場や、遊歩道の脇のなどで咲いています。比較的大きな白い花で、集団で咲いているのですぐに見つかります。
- ヨーロッパが原産の多年草ですが、日本には明治の頃に日本に入ってきたといわれています。しかし、沖縄に入ってきた時期はよく分かりません。
- 葉は三出複葉で、小葉には白い斑紋があります。時折、小葉が四枚あるものが見りつかます。



上:グランド広場で咲くシロツメクサ。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

